



兵庫支部NEWS H19 7月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(☎078-792-6130)
ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回1,500円(送料込)
購読のお申し込みは郵便振替
振替口座00980-2-245822
口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

第21回(平成19年度)兵庫支部総会・懇親会開催 参加者総数48名、生田神社で神妙に御祓いを受けて

平成19年7月7日(土)午後5時から、第21回(平成19年度)北九州市立大学同窓会兵庫支部総会懇親会が、生田神社会館において、ご来賓として本部

から山下建治会長、吉田潔副会長代行(広報・情報担当)及び関西支部から今井伸子副支部長と上村節子幹事のご臨席をいただき、会友を含めて48名が出席して開催された。

総会は三宅隆志(59中国)司会で始まり、支部長挨拶、ご来賓挨拶、支部活動報告、会計報告などが簡潔かつスピーディー

に近來にない短時間で総会を終え、生田神社本殿で、出席者のご健勝と兵庫支部の発展を祈願。

懇親会は、久々に登場の船仁のかさんによる軽妙な司会で一挙に盛り上がり、安部高之(H1米英II)による出席者の紹介、長崎晶さんの歌謡ショー、福引ゲーブなどで2時間あまりの時間があっというまに過ぎた。最後は逍遙歌を永翁正臣(41商)のリードで大合唱して散会し、二次会へと繰り出した。詳細は下記の山田紘昭(44商)レポートを参照。



(お祓いを受けた後生田神社前で記念撮影)

平成19年七夕!

厳かに、軽快に第21回兵庫支部総会開催さる

山田紘昭(44商)記

朝から、どんよりと曇って、今にも雨が落ちてきそうな蒸し暑い夏の薄暮、第21回兵庫支部総会が開催された。(夜まで雨は落ちてこなかった)

ところは、あの紀香、陣内が挙式した生田神社。御祭神は稚日女尊(わかひるめのみこと)という稚(わか)く瑞々しい日の女神、と神社略記にあった。畏くもこの女神の大前にて我ら兵庫支部の同窓生とゲスト48人が集い旧交を温め、健康を称え合った。

午後5時開会ではあったが、「役員は3時半頃には来て欲しい」との指示を受け3時半には生田神社会館へ着いた。当日の案内板には、挙式の御両家の名前が4~5組や何々会様と記されていたが、その中に國學院大學同窓会様もあった。神社と國學院大學、なるほどピッタリだと思いながら会館の中に入る。すぐ「北九州市立大学兵庫支部総会様1F」の看板と受付のテーブルが目につく。まだ誰も来ていない。そのまま冷房のよく効いた室内で待つ。

4時前頃、川村氏が来、松山氏が来る。「湊川神社に間違っ行ってた」とは松山氏。彼らしい。しばらく44年組みで雑談。4時を回った頃だろうか。名越氏、安徳氏が顔を見せ、今日の来賓である山下同窓会長と錢谷支部長も一緒に来られた。囲碁を楽しんでおられた由。大村副支部長、平間評議員も来られた。いつの間にか二宮事務局長もカメラをぶら下げた姿で登場。

そして、いよいよ「受付」の開始。まずは、来賓の方々の変更があるため、総会出席者名簿訂正を総会パンフに挟み込んだ。そしてオールカラーの大学案内と総会パンフを机上に並べた。松山氏が正面左に座り

(関所)、会費の徴収。出席者はパンフ類を貰い、名札を付け、福引箱には自分の名前の書かれたカードを入れた。

続々と会員が集まり始めた。久しぶりに声を掛け合う人、卒後初めて顔を合わす面々等など、賑やかに談笑。既に懇親会の序章は始まっていた。5時前には数人を除いて予定された会員がほぼ集まった。(受付風景、手前福引箱)



5時丁度に、三宅幹事の司会で総会が始まった。総会は簡潔にとの、当初の目論見通り、軽快なテンポで処理され約30分で終わった。



(挨拶する錢谷支部長)

ながら、明るく、楽しい兵庫支部を作っていきたい。続いて、飄々とした山下同窓会会長のご挨拶は、大学改革の現状と同窓会を取り巻く環境の変化、それに伴っての「同窓会長期構想検討委員会」の設置。(次頁へ)

最初は、いつもの川村副支部長の校歌斉唱、「大きな声でゆっくりと歌いましょう」は良かったがややスローすぎて間が空きすぎたか。

錢谷支部長の大病を乗り越えての感動的なご挨拶は「平成会等で活性化を図り

豊富な人材を擁している同窓会が母校発展の為、力を発揮してもらいたい等、今後の我々同窓会のあるべき姿を示された。



(挨拶する山下同窓会会長) 来賓最後は、いつも兵庫支部総会には出席される、関西支部副支部長の今井伸子氏が「毎年、この総会に出席することを楽しみにしています。今日も楽しませて頂きます」とご挨拶された。尚、今回は女性の出席者が、今井氏を含めて3人いた。

定例の支部活動報告は、先ず平間評議員の評議会報告、続いて二宮事務局長の支部活動全般の報告(囲碁の会、三金ゴルフ、歩こう会の活動)、誠に簡単でした。更に会計報告、監査報告はあつと言う間でした。この間約30分。スピーディーな総会だった。「目論見通りの議事進行にご協力ありがとうございました」と三宅幹事。いつもながらの名司会であった。

さて、5時半からは48人の出席者全員が神殿に並び、生田の森の女神の大前で、加藤宮司による健康、長寿祈願の祝詞を挙げてもらった玉串奉納や巫女



(神殿に並ぶ出席者)



(巫女の舞)

の舞もあり、最後はお神酒も頂戴する立派な祈願祭であった。「同窓会と御祓い」どう解釈すればいいのやら・・・ユニークな支部総会として「北友会会報」

では是非、トップで取り上げてもらいたい。全員による拝殿を背にしての集合写真(一面参照)は、いつものように二宮カメラマンが采配。翌8日の日曜日には、写真はメールで届いていた。有難うございました。

さて、これからが本番。既に6時は10分程度過ぎていただろう。船仁のるかさんの軽妙な司会で懇親会が始まった。会場は丸テーブルが六つ、それぞれ会員が8人程度着いた。

最初は太村副支部長の簡単なお挨拶、乾杯は堀江顧問であったが、既に待ちきれないのかビールを注ぎ飲む人も・・・

乾杯の発声の後は各テーブルともビール、ウイスキー、



(船仁のるかさんの軽妙な司会)

焼酎等ぐいぐい空ける。特に44年組みは、同窓会ではまだ若手、ピッチは早い。

44年組みの8人は同じテーブルに座る。関西支部からは出口氏も出席。

しばらく、歓談。小生の隣には副会長代行の吉田氏



(花の44年組みのテーブル)

がいた。松山氏によると「わしは山田の前、山田は吉田の前で3人は同じクラスだった。わしはよう憶えとる」と。だが吉田氏も小生も思い出せない。ところが吉田氏とは共通の友人(吉田氏と同じマンドリンクラブに所属)の事で話が弾む。又、不思議なことに宮本常一と言う民俗学者(山口県周防大島出身)に興味を持っていて、宮本常一を紹介したノンフィクション(「旅する巨人」(佐野眞一著))を二人とも読んでいて宮本常一や佐野眞一の話で花が咲いた。

しばらくすると、出席者紹介に移った。船仁のるかさんに司会の手ほどきを受けたと言う、安部高之氏の上手い司会で、次々に出席者が紹介された。今回は同年卒の塊が3グループあった。一つは山下会長を含めて、大村副支部長達の「33年卒」が7人、二つ目は名越顧問、平間評議員達の「37年卒」が5人、そして吉田副会長代行を含めて花の「44年卒組」が9人である。



(出席者紹介する安部高之氏)



(長崎晶さん熱唱)

宴がたけなわ時、2人のプロの歌手の歌を聴くことが出来た。

一人は、司会の船仁のるかさん曲は勿論演歌「無口酒場」(嫁が出て行ったことの悲しさを唄う)。60歳になったら必ずヒットさせると言う。

もう一人は長崎晶さん(黒龍昇)長崎出身との事。阪神大震災を歌った「魂」、「さい果て番外地」そして母の思い出を胸に自分で作詞した歌等を絶唱した。

さて、懇親会の最後は、恒例の「福引大会」である。

船仁のるかさんが進行し、三宅安部、佐藤の三氏が景品を紹介し手渡す役目。「福引箱」から名前カードを取り出し

引き当てた人に対して、のるかさんが○か×かの二者択一のクイズを出題する。正解だと景品が貰える。不正解だと景品は貰えず、次の回答者を「箱」から引く。クイズの内容は、「雑学」と言えなくもないが、考えさせる良い問題が多かった。



(見事はずれた安徳氏)

北九州市立大学同窓会兵庫支部 平成18年度収支報告書

一般会計

収入の部	前期繰越金	149,986
	同窓会会費支部還元金	28,000
	平成18年度総会・懇親会収入	372,000
	本部支部総会開催助成金	21,860
	高森千賀子氏支援カンパ収入	51,500
	本部支部事務費助成金	40,000
	平成18年度忘年会収入	159,000
	記念誌事業収益	23,396
	銀行利息	74
収入合計		845,816
支出の部	平成18年度総会・懇親会費用	393,214
	会議費	16,916
	本部総会パンフ広告料(送料込)	15,630
	本部懇親会チケット(送料込)	15,210
	高森千賀子氏支援カンパ	51,500
	支部活動功労者被表彰者旅費	25,410
	関西支部総会出席費用	9,900
	平成18年度忘年会費用	149,400
	次期繰越金	168,636
支出合計		845,816

兵庫支部NEWS

収入の部	前期繰越金	121,403
	購読料	100,500
	広告料	19,500
収入合計		241,403
支出の部	作成費	33,339
	郵送費	48,850
	文具費	2,804
	郵便振替手数料	6,240
	次期繰越金	150,170
支出合計		241,403

支部設立20周年記念事業

収入の部	協賛金	288,000
	広告料	183,000
	販売収入	76,000
収入合計		547,000
支出の部	作成費	472,500
	会議費	30,484
	郵送・運賃費	12,940
	文具費	1,430
	郵便振替手数料	6,250
	支部会計繰り入れ	23,396
支出合計		547,000

以上相違ないことを報告いたします

平成19年7月7日 北九州市立大学同窓会兵庫支部

支部長 銭谷勘一郎◎

会計幹事 吉本富雄◎

会計幹事 松山 仁◎

兵庫支部NEWS担当 名越英昭◎

記念誌編集委員 銭谷勘一郎◎

名越英昭◎ 二宮慶治郎◎

安徳信義◎ 川村 進◎

松山 仁◎ 山田紘昭◎

支部規約第9条に基づき会計監査を実施いたしました結果収支ともに適正に処理されている事を認めます。

平成19年6月15日 北九州市立大学同窓会兵庫支部

会計監査 藤田博保◎

会計監査 河野旺生◎

正解者も勿論出るが、不正解者も多くなり、回答者はどんどん増えていった。のるかさんの軽妙洒脱な進行振りに、又意外な正解に会場は、爆笑や「へーそうなのー」と感嘆する声など終始和やかな雰囲気包まれた。



(外れて思わず苦笑いの筆者)

た。景品は出席者の半分くらいしか用意していなかったと思われるが、ほとんどの人が回答者になり景品を貰う資格があった訳で面白い福引であった。小生も回答者にはなったが、クイズで外れ景品を貰い損ねた。

8時10分頃まで続く今までに無い長時間の「福引大会」であった。最後にのるかさんが「当らなかった人いますか?」とみんなに聞いたとき、手お挙げたのは藤田博保氏ほか3~4人だけだった。

懇親会は、永翁氏指導の下、逍遥歌斉唱でお開きとなった。

閉宴の辞は、我々が44年組みの安徳幹事長が「七夕は牽牛、織女が一年に一回逢瀬を楽しむ日ですが、最近ではニセ牛が・・・(ミートホープの事か)、これで終わります」と、「何のこっちゃ」と思わせるユーモラスな挨拶で締めくくった。

名越顧問より二次会について、「タイシンサンセットビル6F、三金会会場フリージアと同じフロアにあるカラオケ喫茶「ドレミファ」(長崎晶経営)の両方どちらにも行くことが出来て3,000円で飲んで唄えます。どうぞお時間の許す限りお楽しみ下さい」と説明あり、帰る人、行く人三々五々散会となった。

二次会会場フリージア、ドレミファには山下会長や吉田副会長代行にも来て頂いた。又、船仁のるかさんと長崎晶さんは、ここでも演歌を熱唱してくれた。

ドレミファでは、願い事をロザサミ、体に触れれば出世すると言うニワトリ(2年数ヶ月前生田神社で買ったヒヨコ)も登場した。

ゲストの謝さん、明亮さん、フリージアのママと娘さんも最後まで付き合ってくれた。



ここでは大声で歌う人、踊る人、水割り片手に数人で話し込む人等など。

いつもの風景であったが、小生の目に付いた人々がいた。それは、船仁のるかさんと安部高之氏(司会業について指導を受けていたのか)、フリージアの娘さんと佐藤研二氏(いい雰囲気カウンター



(川村氏熱唱)に並んでいた)

小生は、吉田潔氏と更に話しこむ(山下会長も)

(福岡で会う約束)。

北九州小倉のキャンパスで共に過ごした縁を大切にしたい面々の夜はこうして更けていった。

午後11時前、山下会長が席を立たれると、吉田氏がすぐ「会長を送っていく」と席を立つ。これを機に一同に動きがあり、ぞろぞろと自然流会となった。

第21回兵庫支部総会・懇親会出席者

来賓：山下建治(33商) 北九州市立大学同窓会会長
吉田 潔(44商) 同上幹事、副会長代行
(広報・情報担当)
今井伸子(35米英) 関西支部副支部長
上村節子(45国文) 同上幹事

堀江淳之(32米英) 大村実良(33商) 岩崎直彦(33商) 鷹野哲雄(33商) 戸田徳治(33商) 広橋弘毅(33米英) 大野光男(33商) 藤田博保(35商) 伊藤互(35商) 河野旺生(36商) 名越英昭(37米英) 山本信司(37米英) 平間正昭(37商) 村上勝幸(37商) 吉田耕一郎(37商) 二宮慶治郎(38米英) 藤澤一範(38中国) 銭谷勘一郎(39米英) 吉本富雄(39米英) 赤松初夫(40米英) 橋田喜恵(40米英) 前原賢作(40商) 名倉勝征(41米英) 永翁正臣(41商) 元田幸治(42商) 安徳信義(44商) 山田紘昭(44商) 松山仁(44商) 浜田勝義(44米英) 川村進(44米英) 久芳健二(44中国) 植松久治(44米英) 出口耕三(44米英) 隅 信(45国文) 松尾祐嗣(45経営) 真島秀幸(48経営) 小野成彦(50経営) 三宅隆志(59中国) 安部高之(H1米英) 佐藤研二(H8法律) 弘埜和子(会友) 弘埜優子(会友) 謝美華(会友) 明 亮(会友) 以上48名

兵庫支部月例会6月「三金会」

6月15日午後6時よりすなっく「フリージア」にて、銭谷支部長以下12名が参加して開催された。
出席者：銭谷勘一郎(39米英) 大村実良(33商) 藤田博保(35商) 河野旺生(36商) 山本信司(37米英) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 前原賢作(40商) 安徳信義(44商) 松山仁(44商) 謝美華(会友) 以上12名

先ず始めに、前評議員の福田要氏(31米英)が白血病のため3日前まで入院されていたが、現在自宅で療養中との報告があり、お見舞いに行くべき手筈を整えることに。(後日本人からの固辞あり、暫く様子見と言うことになる)

同好会活動報告

囲碁の会：支部総会当日正午から、囲碁クラブ神戸サロンにて、山下会長を迎えて囲碁の会開催
今月から第12次リーグ戦を前回同様級位者によるリーグ戦を開始。

歩こう会：6月10日鳥原貯水池にてBBQ
参加者18人



支部総会開催について

* 総会会場で配布すべく本部から大学案内が封筒と共に送付されることになった。封筒には総会パンフも入れて参加者に渡すことになる。

* 広告募集は、目標額10万円を達成できる見込み。
* 会場が生田神社会館ということで神社で御祓いを受ける手筈を整える。

収支報告書について

一般会計、兵庫支部NEWS会計、20周年記念事業会計について、藤田・河野両会計監査による監査を受けた。

著書2編を上梓

前兵庫支部評議員福田要氏(31米英)

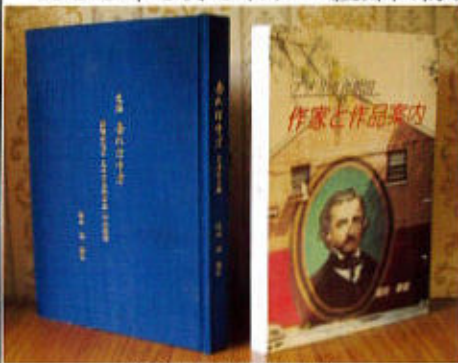
去る6月19日福田要氏から2冊の本が届きました。一冊は立派な装丁の「史話 吾は中才 勘解由次官 黒田官兵衛孝高 如水圓清」295頁
もう一冊は、以前兵庫支部NEWSで一部が連載された「アメリカ合衆国 作家と作品案内」299頁
後者は定価500円で楠コンパステレスから発行されています。

H15年3月9日に「綾部山梅林観梅ハイキング」で一緒に折、「現在、黒田官兵衛を取材中で、いずれ作品にする」と言われていました。御礼とお祝いの電話をする前に奥付を見ますと、「著者、喜寿に至って不治の病を得本著を急遽上梓する」と書かれています。

取り急ぎお電話をし、御礼の言葉を伝えましたが、この7月9日より再入院との事。私も同病相哀れむの状態ですので、つらさが良く判り、言葉にまりました。

立派な作品を仕上げられたのですから、心置きなく治療に専念され、病に勝たれることを祈念しております。

兵庫支部長 銭谷勘一郎



(福田氏著書2冊)

支部総会プレイベント

山下会長歓迎囲碁トーナメント戦

兵庫支部総会に出席予定の山下会長は、同じ33年卒の兵庫支部会員6名と会食の為前日から来神。翌日の空き時間を利用して、兵庫支部「囲碁の会」会員との対局を設定し、三の宮駅近くの囲碁クラブ「神戸サロン」にて、正午からトーナメント方式で熱戦を繰り広げた。
決勝戦は山下3段



と名越3級の対決となり、中盤の中央部の大石の攻防をめくり大接戦を展開時間を気にしながらの戦いとなったが、山下3段の失着があり、名越3級が優勝した。

囲碁トーナメント成績表



第1回新生「平成の会」を開催 11月には早めの忘年会開催予定

佐藤研二 (H8法律)

6月10日午後1時より、居酒屋(夢家)にて10人の会員が参加して、新生「平成の会」第1回懇親会が開催されました。

ほとんど初対面同士の集まりではありましたが、やはり、同じキャンパスで学んだ者同士は自然と会話が



弾み、気がつけば予定を1時間オーバーして、午後4時まで話し込んでいました。特に平成元年卒の安部氏は舌好調で、しばしば先輩の三宅氏に制止される場面も・・・。

終始和やかな雰囲気です。懇親会は進み、11月には、少し早めの忘年会を行う事を確認し、全員が笑顔で帰路につきました。その後、二次会に残った男4人は、4人集まれば出来るスポーツを楽しんだ訳ですが、ここでは詳しく触れない事にします。

第1回を終えて、改めて上の世代の方々とのギャップを感じました。会話の内容から音楽の好みまで、いつもの兵庫支部とはまるで別世界でした。やはり平成の会を分離したのは正解だったように思います。

本当に正解だったかどうかは、11月に開催予定の忘年会の参加人数を見てみないと分からないのかも知れませんが・・・。

当日の参加者は

- 三宅隆志 (59 中国)、安部高之 (H1 米英II)
- 倉本 達 (H1 経営)、今永利明 (H4 経済)
- 小田浩之 (H8 法律)、佐藤研二 (H8 法律)
- 森本千恵 (H8 政治)、持永大輔 (H13 法律)
- 村上尚輝 (H17 国際関係)
- 小幡謙二 (H17 人間関係)



6月23日神戸港に練習帆船「日本丸(太平洋の白鳥)」(後方)が入港し、以前から停泊してる姉妹船「海王丸(海の貴婦人)」(手前)と並び、美しい姿を披露し、カメラ愛好家の好餌となった。

(写真は二宮氏撮影)

歩こう会6月例会(6頁の続き)

もう腹一杯で、とても食べきれないのではないかと考えたが、謝さんの調理が上手かったのか、見事に全部平らげられた。



(謝さん目慢の焼きソバ)

子供達は食べることもよりも、虫取りの方に忙しく川沿いに行ったり来たり、小川の中にも入ったりと、同行の爺々や婆々も忙しい事である。



(虫取りに余念の無い子供達) (お孫さんの世話も大変だ) そろそろ終りにしようかという時、



又も驟雨に見舞われ、再度東屋に避難することになった。ハイカー達も飛び込んで来て雨宿り。



雨はすぐに止み記念の集合写真を撮った後、跡片付けに取り掛かる。

会場を出立したのは午後3時を回

(再び東屋に避難、ハイカーも雨宿り) っていた。

帰路は貯水池北側の周遊路を辿り、石井町で三宮方面へ帰る人はバスで、地下鉄・神戸高速を利用する人は更に1和少々歩き湊川公園・新開地駅へと向った。



(バーベキューを楽しんだ18名の参加者達)

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています
旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料: 1/10頁、1回500円
お申し込みは6回分3,000円で御願います

歩こう会 6月例会

烏原貯水池でバーベキュー

今年も又、烏原貯水池でバーベキューを楽しむ事になった。いつものことながら、二宮「歩こう会」会長には、肉や野菜などの準備及び運搬など大変お世話になり、誠に有難うございます。

梅雨空の続く日々で、前日まで実施できるかどうか心配していたが、当日は青空も見える好天に恵まれ、JR元町駅に集合し、会場まで6km程度歩いて行く予定だ。会場を目指す。

例により二宮会長と謝さん家族6人は先行して現地でバーベキューの準備。今回は安徳氏と同氏友人岡本氏（火起こしの名人）も直行。そのため歩行組は藤田氏、河野氏、名越氏、高須氏と涼太君、山浦夫妻とお孫さん及び河野氏の明商時代の教え子小松ゆかりさんの9人である。



（青空の下元町駅出発）



（バーベキュー準備中）

歩行組が出発する頃は、既に現地では火起こしの準備が始まっており携帯電話で「はようおいでよ」と促される。烏原貯水池でのバーベキューも今回で5回目となる。いつも同じコースを歩いているので少し変えようかと、藤田「歩こう会」顧問の発案で、県庁前の通りを左折して西へ向う。

途中右手に「四宮神社」の鳥居が見える。ここで道中の無事を祈する。

神戸には厄除け八社として一宮神社から八宮神社まであり、三宮神社は、神戸事件の場所として、有名である。（先導する藤田顧問）

しばらく西へ向った後右折して元のコース山本通りまで出ていつものコースをひたすら西へと歩く。烏原貯水池への上り口の石井町の交差点まで時間が長く感じられたのは、天気がよく結構暑かった所為か。



雨は30分ばかりで小康状態となり、再び雨が射してきた。コンロを再び川原に持ち出して、本格的に焼き始める。

二宮農園自慢の種々の野菜、そして本日の目玉食材美味しい三田肉（二宮会長が三田まで出かけて調達）が出された頃は、お腹もそろそろ満腹に近く、それほど多くは食べられず、絶妙なタイミングで出してこられたなど・・・

毎回の事ながら今回も謝さんが、名コックぶりを発揮して終始コンロの前で大活躍。

三田肉を賞味した後は、野菜たっぷりの焼きソバとなる。

（雨もやみ再び川原で）

（5頁へ続く）

石井町から烏原貯水池の入口までの坂道を、息を切らしながら登る。入口から、一番奥にある会場までは更に15分ばかり歩かなくてはならない。

結局到着したのは11時半過ぎていた。出発から約1時間半である。既にバーベキューの煙が立ち昇っており食欲をそそる。

ところが到着した途端に、雨が降り出し、だんだんと大



（雨が降り出した）

くの東屋が空いていたので、そこへコンロを持ち込みなんとかバーベキューを続行することが出来た。

雨は30分ばかりで小康状態となり、再び雨が射してきた。

コンロを再び川原に持ち出して、本格的に焼き始める。

二宮農園自慢の種々の野菜、そして本日の目玉食材美味しい三田肉（二宮会長が三田まで出かけて調達）が出された頃は、お腹もそろそろ満腹に近く、それほど多くは食べられず、絶妙なタイミングで出してこられたなど・・・

毎回の事ながら今回も謝さんが、名コックぶりを発揮して終始コンロの前で大活躍。

三田肉を賞味した後は、野菜たっぷりの焼きソバとなる。

（雨もやみ再び川原で）

（5頁へ続く）



（もうBBQの煙が）

粒になり、慌ててコンロに傘を差し掛けるが土砂降り状態となり、幸い近くの東屋が空いていたので、そこへコンロを持ち込みなんとかバーベキューを続行することが出来た。



（東屋に避難して）

雨は30分ばかりで小康状態となり、再び雨が射してきた。コンロを再び川原に持ち出して、本格的に焼き始める。

二宮農園自慢の種々の野菜、そして本日の目玉食材美味しい三田肉（二宮会長が三田まで出かけて調達）が出された頃は、お腹もそろそろ満腹に近く、それほど多くは食べられず、絶妙なタイミングで出してこられたなど・・・

毎回の事ながら今回も謝さんが、名コックぶりを発揮して終始コンロの前で大活躍。

三田肉を賞味した後は、野菜たっぷりの焼きソバとなる。



損害保険・医療保険・がん保険の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良 (昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316



兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時～8時、囲碁の会午後3時～

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1

タイシンサンセットビル6F

電話078-392-2466

お気軽においで下さい

